

元気モリモリニュース



マスクのいない日常が、早く戻ってきますように。
(写真は、令和3年6月議会での質問時)

4 期目も、折り返しを過ぎました。改めて、平素のご支援に感謝しますとともに、ニュースの発行が滞りましたことをお詫びいたします。

さて、3 期目は、無所属での活動でしたが、今 4 期目は、党派「自民・未来クラブ」を結成しました。大牟田を前へと進めていくために、考え方の近い自民党員団の皆さんや、前期、活動を共にしてきた無所属議員の皆さんとともに活動しています。また、今年の折り返し人事の後、自由民主党に入党しましたので、ご報告いたします。

今期に入り、県議は、永川議員に、市長は、関市長に代りました。これまでよりも、国政、県政と市政の連携や、議会と行政の意思疎通が活発になり、一体感が出来てきていると思います。

今後とも、初心を忘れず市の発展に尽くしますので、よろしく指導のほど、お願いいたします。

議会での「新しい日常」

コロナ以前、議会の会議中は、行政側には、市長以下 30 人弱が、質疑質問のない開会日を含め、全員出席していました。ところが、今は、開会日は、市長、副市長の 3 名のみ。質疑質問のある日は、質問者ごとに、市長、副市長、答弁が必要な担当部局のみの出席となっています。2 分の 1 から少ないときは 3 分の 1 以下の人数です(密を避けるため始めましたが、マイナスは特になく、コロナ後も続く可能性があります)。

市議会定例会で質問しました

一般質問 (令和3年6月22日)

- ① 今年の水害への備え
- ② 教育政策 (新教育長の見解・GIGAスクール・小中一貫教育・夜間中学設置の検討状況)
- ③ 産業政策 (今後の大牟田活性化策)

一般質問 (令和3年12月14日)

- ① 今後の浸水対策 (来年以降への備え・堤、井堰の管理)
- ② 教育行政 (学力アップへの取り組み)
- ③ 大牟田の魅力向上と経済活性化 (大牟田市観光計画・延命公園基本計画)
- ④ 電子図書館の導入
- ⑤ 市庁舎整備 (今後の進め方)

※詳しくは、大牟田市議会ホームページ(議事録・インターネット録画中継)をご覧ください。

令和2年7月豪雨について

昨年7月の豪雨、今年8月の長雨と2年連続で記録的な量の雨が降りました。改めて、「亡くなられた2名の方々のご冥福をお祈りしますとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

「いろいろな支援策があるのは、ありがたいが、これからのことがもっと大切。もう一度、このようなことがあれば、もう大牟田を出ていくしかない。想定外は、今後は通用しない。」

多くの被災者の方々に共通する切実な訴えだと思えます。元の生活に戻っていただくだけではなく、安心して、住み続け、仕事が続けられるよう浸水対策を実行する必要があります。

抜本的、長期的な対応に加えて、1年ごとに少しずつでも、出来ることを実行していきます。



「祈りの花火」 (@諏訪公園)

亡くなられた方々への哀悼と被災者の方々の早期復旧復興を祈念して。

～1 NOR I 大蛇山より～

学校教育の充実について

本年度より、教育長が代り、教員経験者ではありませんが、長年県で教育行政にかかわられた方が就任されました。私が、期待するのは、県の視点で、大牟田の現状を評価し、変えた方が良いところを変えていくことです。

6月議会で、教育長の見解を問うと、

「ESDなどのこれまでの大牟田の特色ある教育に加え、社会的自立の基盤となる基礎学力の確実な定着にしっかり取り組んでいく必要がある。」「知の部分をもっと少し充実させると、もっと子供たちの力が伸びていくんじゃないか。」との答弁で、学力アップへの取り組み強化の方向性を打ち出されました。これまでの議会や委員会でのやり取りの中で、初めて、真正面から学力の問題に取り組む姿勢を感じました。

12月議会において、

学力の育成に關しての成果指標について、これまでのアンケート結果から、令和4年度より、全国学力・学習状況調査の標準化得点に基づき成果指標に見直しを行う予定との答弁もあり、より客観的に評価できるようにします。

もちろん、指標を変えるだけではだめで、

- 子供たちの学びを補佐する学習サポーターの充実
 - 先生方の授業力アップのための研修の充実
 - それを支える教育委員会の体制の強化
- など、しっかりと予算付けしていかねばなりません。

せっかくの機会を活かし、大牟田の教育の底上げが、しっかりとできるよう。協力していきたいと思えます。

市庁舎整備について

関新市長就任後、改めて庁舎整備についてのアンケートをとったところ、本館の取り扱いについては、

- ・残して次の世代に継承してほしい 約28%
- ・解体して新しい庁舎に建て替えてほしい 約30%
- ・財政的な負担が小さい場合は残してもよいが、大きい場合は残さなくてもよい 約36%

この結果となりました。また、場所の検討については、

- ・現在地 約40%
- ・再編後の学校跡地 約9%
- ・新栄町地区銀座地区などの中心市街地 約7%
- ・笹林公園 約20%

この結果となりました。これらの結果を受け、

- ① バリアフリーやわかりやすさなど、機能的で便利な庁舎づくりを検討する。
- ② 大牟田駅周辺のまちづくりの観点から、検討エリアは現庁舎敷地と笹林公園とする。
- ③ 市民の負担（財政的な負担）を抑えるため、民間活力の活用による庁舎整備（本館の保存・活用を含めて）を検討する。

この考え方に立って、検討が進んでいます。また、耐震の面で、最も懸念が大きかった塔屋（最上階部分）については、当面の安全対策として応急処置が行われました。

12月議会前に、民間活力導入の可能性調査の結果の報告があり、年度内に今後の方向性として取りまとめた際の考えが示されました。

議会では、笹林公園に庁舎を建てた場合、代わりの公園をどうするかについて、再編後の小学校跡地や既存の公園に今の公園機能を分散して移すことも含めて、色々と検討の余地があることを確認し、コストの試算方法など、積極的に議会へ報告し、議論が後戻りしないように進めてもらうこと、時間に余裕が出来たこの機会を使い、大牟田駅周辺のまちづくり全体へ活かすという考え方も入れながら、検討を進めるように要望しました。

庁舎整備の視察（京都市）（令和元年7月）

大牟田市の庁舎本館とほぼ同時期に建設された庁舎を改修して、庁舎として利用されるこのことで視察に行きました。

コストが高く、工期が伸びるのはわかっていたが、古いものを大切に京都の文化を考慮したことでした。また、当初想定しなかったことによる追加費用など、かなり、苦労されているようでした。

また、工事中でしたが、とても参考になりました。大牟田の庁舎本館を庁舎として改築・利用するのは、難しいのではないかと感じました。



のモデルとなる環境に配慮した市庁舎をめざします

庁舎完成イメージ図（京都市）

延命公園が生まれ変わります。

今年10月に動物園内に「ともだちや絵本館」が誕生しました(写真③)。これで、夏の暑いときも、冬の寒いときも、動物園をゆっくり楽しみやすくなると思います。

同時に、体育館や展望所のある配水池の建て替えが進んでいます。左図①、②は、今年3月に策定された「延命公園基本計画」から抜粋したものです。ですが、本当にこのイメージ図のような整備が進めば、この一帯は、かなり魅力的な場所になると思います。

体育館についても、すでに工事が始まっていますが、当初、想定していたものより、かなり使い勝手がよく、プロスポーツや全国大会を誘

致できるようなものになると思います。コストについても、公園の整備と併せてやることで、かなり抑えることが出来そうです。芝生広場も、遊具を置き、体育館のキッズルームと一体的に活用出来るようにしていきたいと思っています。

配水池周辺についても、コロナの影響で少し工事が遅れています。現在の暗く、さびれた雰囲気からガラッと変わりそうです。公園全体が散策しなくなるスポットになるのではと期待が膨らみます。

あとは、この計画が、絵にかいた餅にならないよう、しっかりと後押ししていきたいと思っています。



① 総合体育館と芝生広場（イメージ）



② 配水池と円形広場（イメージ）



③ ともだちや絵本館（動物園内）

皆様のご意見をお知らせください。

(連絡先)

〒836-0807 大牟田市上町1-3-3-M201

電話/090-4844-8520

Eメール morijun1965@gmail.com

ホームページ <http://www.mori-jun.com/>

(「大牟田市議会議員 森 じゅん」で検索してください。)

